

平成 26 年度 一般社団法人 京都府臨床検査技師会 第 6 回定例理事会議事録

日時：平成 26 年 10 月 9 日（木）18:30～20:35 場所：京臨技丸太町事務所

議長：白波瀬浩幸 書記：井上和子

出席理事：白波瀬浩幸・小澤 優・荻野和大・四方 学・林 孝俊・青山絹子・高嶋 徹・中村和彦・

藤崎 智・山田宣幸・鮎川宏之・井上和子・小池正穂・庄司月美・藤内千歳・中村美保

欠席理事：豊山浩祥・笛田裕司・小原伸之

出席監事：江見安一・早瀬泰行

欠席監事：

会長招集者：清井健司・山方けい子

【議事録確認】

平成 26 年度(一社)京臨技第 5 回理事会議事録確認(別資料) · · · · 承認

【報告・連絡事項】

1 京臨技役員行動報告(白波瀬) (別紙参照)

平成 26 年 9 月 20 日(土) 日臨技近畿支部内連絡会議 神戸国際会議場

出席：白波瀬・小澤・荻野・庄司・多気

以後予定事項

平成 26 年 10 月 14 日(火) 臨床検査振興協議会広報委員会 日衛協近畿支部 小澤

平成 26 年 10 月 25 日(土)～27 日(月) 平成 26 年度地域ニューリーダー育成講習会 高嶋

平成 26 年 11 月 01 日(土) 青嶋元会長受章祝賀会 ウエスティン都ホテル 役員 (後述)

2 日臨技報告(小澤) & 日臨技近畿支部報告(白波瀬)

① 会員数 53,561 人 (8 月 10 日現在) (昨年度末 52,572 人) 昨年より 1,000 人増

京都府は、現在 868 名に増加 (昨年は 840 名)

② 検体測定室講習会

以前の資料参照 前回より継続報告

この講習会は他業種 (薬剤師・栄養士など) が検体測定室を開設するに当たっての講習会
ということになる。

③ 検体測定室サーバイ

外部精度管理を受ける事に関して、サーバイを日臨技と専門医委員会で協力して行う。

日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム(J AMTQC)を使用するかという話に
なる。(後述)

④ 平成 26 年 10 月 11 日(土) 日臨技理事会(小澤欠席：業務の都合により)

教本シリーズのロゴマーク

日臨技より報告。教本シリーズ作成中だが (資料なし)、表紙に使用するイメージしやすい
ロゴマーク募集 (簡単な手書きでもいい)。締切りは 10/20。最終的にはプロが完成させることになる。

⑤ 日臨技近畿支部内連絡会議 (別紙参照)

議事概要

1 ニューリーダー研修会についての日臨技報告。

- 2 近畿医学検査学会（神戸市）において、今回初めて新しい試みとして、ポケット版のプログラムを配布せず、WEB方式のプログラムを採用した。
この学会で日臨技システムに障害発生、約1,400名の参加の集計に影響が出た。メールでの確認を行ったが、各自参加登録できてるか確認のこと。
- 3 来年の近畿支部学会は、平成27年10月17(土)～18日(日)に大阪国際交流センターで開催される。大阪の技師会の運営会長が学会長となる。
- 4 平成28年(再来年)の秋(8/30予定) 全国学会が神戸で開催されるが、IFBLIS国際学会との併催となる。そのため近畿支部学会は5月頃に、和歌山市で開催される。

決議事項及び継続事項

1 近臨技シンポジウム打ち合わせ会議

毎年12月第1週土曜日にシンポジウム打ち合わせ会議が開催されている。

交通費に40～50万円掛かり、今まで近臨技補助が出ていたが、現在は補助なく、都道府県の負担が多くなっているため、大阪からの提案で集合しての会議は中止の方向で考へる。大阪では開催されるが、それ以降は学会の時に集まるか、メールやり取りとなり、打ち合わせ会議そのものがなくなる可能性がある。大阪に関しては、済ませた方はしなくていいです的な感触。

2 支部学会表彰

3 認証施設がなかなか増加しない。5万円は高額で払いにくい。分納性がいいのではないか、年1回の精度管理参加費の値上げでカバーしてはどうかという意見あり。(後述)

4 来年の全国学会は佐賀県担当で、福岡県で開催。学会テーマは「佐が創未来」。近畿支部から経験3年目の若手技師1人を選出ということで、京都から京都大学の松岡さんが参加される。

⑥ 旧近臨技OB会

継続と会長には間瀬元奈良県会長が就任となった。(京都からは湯浅元会長)

近臨技OB会の資格は、近臨技の幹事会或いは近臨技の役員経験者

3 総務部(小澤)

- ① 10月定期発送：9月26日(水) 行事予定・研修会案内を施設連絡責任者と賛助会員へ送付
- ② 11月定期発送予定：10月27日(月) 行事予定・研修会案内を施設連絡責任者と賛助会員へ送付予定。他の送付物の確認必要。まだ準備中だがこの時に全会員宛に会報を発行予定(白波瀬会長より)
- ③ 10月・11月行事カレンダー発行(小池)

4 事業部&学術部

- ① 新人・転入会員研修会(笛田・藤内) 終了報告

平成26年10月3日(金) ホテル京阪京都(別紙参照)

参加数：新入・転入27人 研究班10人 理事・事務局18人

- ② 第30回京臨技精度管理調査(豊山欠席)

サンプル発送：平成26年10月21日(火) 報告会平成27年3月7日(土)予定

- ③ 全国検査と健康展(小澤・小池・庄司)(別紙参照)

平成26年10月25日(土) 京都保健衛生専門学校 理事打合わせ前日16:00、開催10:00

・研究班からの応援5人(人数は充分足りている)去年と同じ流れで行う

・事前の打合わせはし難いので当日の朝に実務員に流れを説明(実施要項、名簿を配信)

- ・手の空いている理事は午後からでも良いので参加のこと
- ・くらしと健康展と共に、臨床検査の啓発の資料を用意しておく
- ・配布する約 300 円の液晶体温計の実物の回覧を行う

④ くらしと健康展(小原・井上・中村(和)

平成 26 年 10 月 26 日(日) 京都府医師会館

- ・研究班からの出務者への案内(6 名)氏名、連絡先を確認し、会場整理などの役割分担
今年は初めて希釈法で行うので、朝の段取り・練習が必要
- ・人数が足りるか? 最終人数調整必要。前回のようにするなら A1c だけで 4 人必要
ボランティア参加はなし。参加可能な理事は参加のこと
- ・集合時間→未定
- ・使用機器→小原理事の施設で使用しているものなので、小原理事の施設で機器確認と打ち合わせ。血糖は機器 4 台を使用。
- ・マイクロピペット→貸出は保健衛生。井上が取りに行く。
- ・チップ→マイクロピペット製品名をメールで知らせるのでそれに合わせたチップを購入。
- ・医療廃棄物の処理→検討項目。針捨等。450 廃棄物容器を 2 箱用意。ごみ袋も用意。
- ・くらしと健康展の A1c は医師会から依頼されて行う。医師会と糖尿病協会の打ち合わせができているか確認。

⑤ 第 25 回北部学術発表会(四方・小池)

平成 27 年 1 月 17 日(土) 福知山交流プラザききょう

一般演題 (Y I A 含む)、特別講演、市民公開講座、情報交流会

- ・25 回目、駅前の会場

地元の高校生・中学生に日臨技ビデオを見てもらい、臨床検査技師の活動・研究や、学校や病院についてもお知らせする。今後も継続していく。

- 1 若い人に撮影現場などの面白い話を特別講演として話してもらう。新入転入会員研修会の時に話してもらったように、技師がどのような状況に置かれているのかしらない技師も多いので(新人だけでなく)、そういう情報を提供して自分たちで考えてもらう。
- 2 福井の血清班: 高校や中学校に出向いて技師としての HIV の啓発の話をしてもらう。一般演題・新人向けの質問を募集。

【委嘱・承認事項】

1 会員動向別紙 · · · · 承認

会員総数 1,014 名 9 月 30 日現在

9 月度 継続入会 1,012 名・新入 4 名・再入 0 名・退会 1 名・転入 0 名・転出 1 名

2 後援依頼 · · · · 承認

①事業名称: 第 13 回病理・細胞診セミナー

主催団体: サクラファインテックジャパン株式会社

講師: 細胞診指導医及び臨床検査技師

開催期日: 平成 27 年 1 月 17 日(土)

開催場所: 大阪市立総合医療センター さくらホール

他の共催、協賛、後援団体等: 近畿支部の全ての各地臨技(予定を含む)

協賛金: なし

参加費：無料

- ・近臨技が解散したため、近畿7府県へ後援依頼。
- ・会員の利益につながる講演である。

②日本放射線技術学会事務局。市民公開シンポジウムの名義貸しの後援（昨年は回覧）。

開催要項：平成26年12月13日（日）メルパルク京都で市民公開講演・公開シンポジウム
「肺の生活習慣病『COPDを知っていますか』息苦しいと困りますよね」

【検討議案】

1 青嶋俊江元会長「瑞宝双光章」受章祝賀会（中村）（資料配布）

テーブルの配置など、会場の下見を行った。最終人数と名簿をkamt-rijiに流す。

- ・開催日：平成26年11月1日（土）16:00開場 18:30閉会
- ・会場：ウェスティン都ホテル京都

2 検査説明と相談の出来る検査技師養成講習会（別紙参照）

進捗状況報告、各種書類の確認と、申込期間の決定など

- ・後援依頼：医師会、府の病院協会など。全部揃ったらHPに載せる。HPでダウンロードできるようになる。
- ・案内状：案内状にプログラムを載せる。次の発送日に全員に配布予定。
- ・発送日：要検討。
- ・締切：11/1～11/30の1か月間。他の地域に聞くと応募が多く、早期締切になるか？
- ・募集人数：30名になっているが40名でも可。理事の申し込み可。定員になったらHPで定員になった旨表示する。
- ・申込方法：メールかFAX申込。
- ・修了証書：当日渡す。
- ・実務委員：高嶋理事だけだと大変なので、補佐が必要。

3 日臨技の精度保証施設認証申請について

申請可能施設一覧受領、今後の働きかけをどうするか。

- ・京臨技として推奨するのか否か、このまま現状維持なのか、方向性を決める。→現状維持。
理事の施設が取得していないのに広めににくい。医師がどう見ているか？精度管理を行われていないデータは信頼されない。
- ・京臨技の現状：京臨技の活動は弱い。今回の認定施設の名簿によると京都は2施設（前回は1施設）計3施設。精度管理＝認証ではない。精度管理だけでいいと思っている施設が多い。京臨技はJAMTQCを今まで申し込んでいない。各施設から日臨技に申込なので、京臨技がJAMTQCに入っておくほうが施設としては申込みやすい。多い府県は何十施設も受けている。申請可能施設数は、京都で70～80施設あると考えられる。
- ・費用：2年間で5万円、これがハードルとなり、各施設が踏み出せないでいる一因である。施設長に対して検査技師が5万払ってほしいとは言いづらい。そういう理由で京臨技会長としては推奨たくない。精度管理+1～2万であればもっと受けるかもしれないが、決定は日臨技が行っている。
- ・メリット：取っても何のメリットもないと思っているから取らない？取っている施設の声としては、①データをまとめなくてはいけなくなるので精度管理の意識を高めた。②モチベーションが上がる。③権力をもらえる。④一般の方にはアピールできる。

- ・対策：施設連絡者会議で、精度の説明＋認証を取ることの意味の話を議題にするはどうか？京都で取っている施設（綾部市立病院）の話がよい。この認証制度を知っている人も多いので、経験や、良くなつた点、使用法などの話をしてもらうと、自施設でも取ろうという施設が出てくる筈。もっとしやすい方式を日臨技も考える。たくさんの施設が参加できる可能性があるから費用を安くしてほしいが、5万円払っている所があるので無料にはならない。

【その他意見交換】

1 京臨技の会員証の扱い

原則、会員証の確認が必要。今年から、京臨技の会員参加数を把握するため、研修会開催に際し京臨技会員参加数を正確に報告してもらっている。

会員証不携帯届：日臨技・京臨技両会の会員証を持って来ていない時に提出するもので、非会員が提出するものではない。

京都府の研修会参加：

①日臨技＋京臨技会員（京臨技会員証に日臨技の番号も記載）→無料。

②京臨技のみの会員→無料。

③日臨技のみの会員→無料。本来は京臨技非会員として3,000円徴収だが、日臨技から5万円の補助が出ているため（どの研修会が対象かは区別できない）、徴収を免除している。今年はどちらか入っていれば無料。京臨技の場合、他府県の日臨技会委員からも参加費は頂かないのは上記理由による。
来年からは日臨技のみの会員が京臨技行事に参加する場合は参加費が発生するようになる？（来年からは参加人数によって1人500円の補助になる？）

④臨床検査技師だが、両会とも非会員→3,000円

⑤その他（他職種、メーカー、一般人等）→規定なし。

問題点：日臨技・京臨技の両会費を払っている者としては、日臨技の会費だけで京臨技の研修会に無料で参加できるのは不公平感がある。そのため、日臨技のみの人には京臨技にも入ってもらうように勧めている。日臨技のみの会員が多くなると会費を徴収することになる。

以上の議事を明確にするため、本議事録を作成し、出席した会長及び監事がこれに記名押印する。

会 長

印

監 事

印

監 事

印

平成26年度第7回定例理事会予定

日時：平成26年11月13日(木)18:30～20:00

会場：京都保健衛生専門学校